

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月22日(水)

事務事業		水質管理事業		担当課	水道工務課	担当係	施設係	管理番号	3927
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり		根拠法令 個別計画等	水道法 深谷市水道事業地域水道ビジョン 深谷市水質検査計画			
	小項目	2	水の安定供給と下水処理の適正化						
	主要プロジェクト	0	(未使用)						
事業概要		市民へ安全なおいしい水を供給するため、浄水処理する前の原水や浄水の水質検査を計画的・効率的に実施し、水道法に基づく水質基準を満たすことを確認することによって水道水の安全性を確保するものである。							
目的 ※何のために		供給する水道水が水道法に基づく水質基準を満たしていることを確認するため。							
対象 ※誰・何を対象に		浄水処理する前の原水（地下水・河川水）と供給する浄水。							
手段 ※どのように		年度当初に定める水質検査計画に基づき、毎日及び定期的の水質検査を実施し原水・浄水場出口の浄水、給水栓水の水質確認を行う。							
成果 ※何を求めるか		水道法に基づく水質基準を満たす安全で良質な水道水の供給を行う。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）	
本事業の 主な業務		・ 水質管理業務				・			
		・ 水質検査発注業務				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画			水質検査（604回） 水質検査箇所（52箇所）	水質検査（604回） 水質検査箇所（52箇所）	水質検査（604回） 水質検査箇所（52箇所）	水質検査（608回） 水質検査箇所（52箇所）	
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数（人）	0.42	0.42	0.37	1.17	1.17	1.90
	人件費相当試算※	3,267,180	3,268,440	2,908,570	9,519,120	9,081,441	15,449,561
総事業費試算		3,267,180	3,268,440	2,908,570	9,519,120	9,081,441	15,449,561

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	水質検査実施回数	目標値	回	604	604	604	604	608	608	
		実績値		603	604	604	604	608	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		水質検査計画に基づく検査回数を目標値とする / 当該年度実績							
	実績値の算出式									
活動指標 2	水質検査実施箇所数	目標値	箇所	52	52	52	52	52	52	
		実績値		52	52	52	52	52	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		水質検査計画に基づく検査実施箇所数を目標値とする / 当該年度実績							
	実績値の算出式									
成果指標 1	検査結果が基準値内だった箇所の割合	目標値	%	100	100	100	100	100	100	
		実績値		100	100	100	100	100	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		異常値なしを目標値とする / 当該年度実績							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	水質検査業務受託者との調整を図り、計画に沿った検査を実施できた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	すべての浄水で、水質基準値以内であることを確認できた。
			評価者 施設係長 飯塚 佳樹

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	水質検査及び採水業務は外部委託とすることで事務及びコスト面で効率化が図られている。
			評価者 施設係長 飯塚 佳樹

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	水道法の改正等、義務付けられている水質基準項目や水質管理目標設定項目の改定に注視しながら、必要に応じ深谷市水質検査計画の見直しを行う。
達成状況及び その効果	水質基準の改定により深谷市水質検査計画の見直しを行い、安全で良質な水道水の供給を行った。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	水質管理事業	担当課	水道工務課	担当係	施設係	管理番号	3927
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		評価の内容説明					
		深谷市水質検査計画に基づき、適時、的確な水質検査を実施し、安全で安心な水道水の安定供給ができています。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	環境水道部次長兼水道工務課長 山中 勉				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

